Thinking of you

Electrolux

システムキッチン用

ビルトインコンロ　設置工事説明書

型　　式	型式の呼び	トッププレートの幅	備　　考
EOG24204X	RRB71WGRL-E	75	レンジフードファン連動機能付 水無し両面焼タイプ

◆工事される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 設置工事が終わったら 7 設置工事後の点検確認 のチェックリストにもとづいて、必ず再確認してください。

1 安全に正しく設置工事していただくために

機器を安全に正しく設置工事していただくためや、設置工事作業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。


一般的な
警告・注意


一般的な禁止


必ず行う


分解禁止

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

⚠警告

■設置工事は必ず、この「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準及び実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置工事をすると事故や火災の原因となります。


確認

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された工事を行う


確認

■工事終了後は、この「設置工事説明書」と「取扱説明書」をいっしょにして必ずお客様にお渡しする


確認

⚠注意

■設置する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）に適合していることを銘板で確認する

合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。

銘板は機器の本体内部左後方または本体底裏面に貼ってあります。


ガスの確認

〈例〉銘板（12A・13Aの場合）

ガスグループ

12A・13A

型式の呼び

○○○○○○○　都市ガス

12A用	13A用
ガス消費量	ガス消費量

製造年月および製造番号　RN(O)

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

金属管や金属可とう管などによる機器へのガス配管接続工事は必ず有資格者が行ってください。

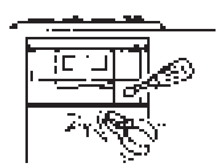



確認

■機器に手を加えない

設置工事で必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
ガス漏れや火災の原因になる恐れがあります。


分解禁止



⚠注意

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

・可燃物との距離を確実にとる（下図参照）
・守れない場合は別売の防熱板を取り付ける

■火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

■周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合はつぎのようにしてください。

・トッププレートより上の側面は7.5cm以上、後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より80cm以上離して設置します。

■可燃性の壁（ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から側面は7.5cm以上、後面は15cm以上、また、上部はトッププレート上面から80cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。

防熱板（別売）

・防熱板については、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。

■設置するときは、下記の項目に注意してください

■**設置場所**を決めるときは、お客様とよく相談する。

■**燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例･電気設備技術基準に定める防火措置を施す。**

■この機器の金属部は、感電・火災などを防止するためにカウンタートップなど家屋の金属部分と電気的に接触しない様に、カウンタートップに絶縁テープなどで絶縁処理をする。（「電気設備技術基準の解釈第167条の３項」による）

■**この機器を設置される台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。**

- 水平で安定した場所に設置する
- 指定の防熱板を必ず使用する
- **車両・船舶**には設置しない
- 排気口をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがない
- 十分に換気のできるところに設置する
- **水のかかるところ**には設置しない
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かない
- **棚の下**など落下物の危険のある所には設置しない
- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない
- 強い風が吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所には設置しない

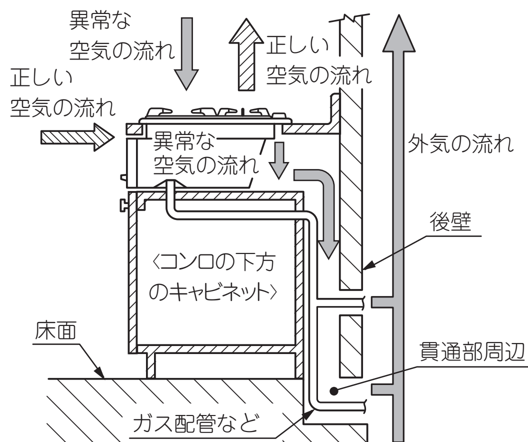
（点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しく働かないことがあります）

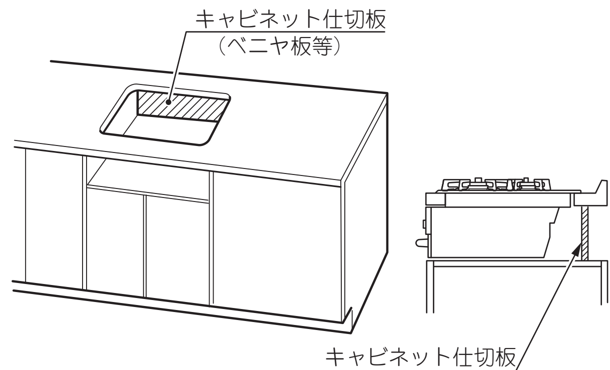
⚠注意

■キャビネットに背板があるか確認する

ベニヤ板などにより機器の後方をふさいでください。

キャビネットに背板がないと、ガス管などの配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がもぐりこんだり、消火したり、不完全燃焼することがあります。



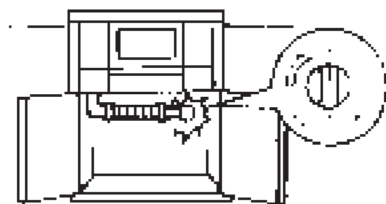




■設置工事後、長期間使用しないときはガス栓（ねじガス栓）を閉める

ガス栓(ねじガス栓)は機器下方または、となりのキャビネット内にあります。

ガス事故防止のため必ず行ってください。





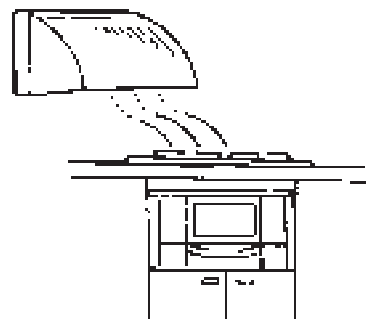
■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器にはレンジフードファンが必要です。

設置するガス機器及び同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。

ただし、室内給気式（FE·CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため、注意が必要です。

レンジフードファン連動タイプの場合、該当給湯器などの設置は避けてください。





■機器設置の際には必ず手袋をする

けがの防止になります。



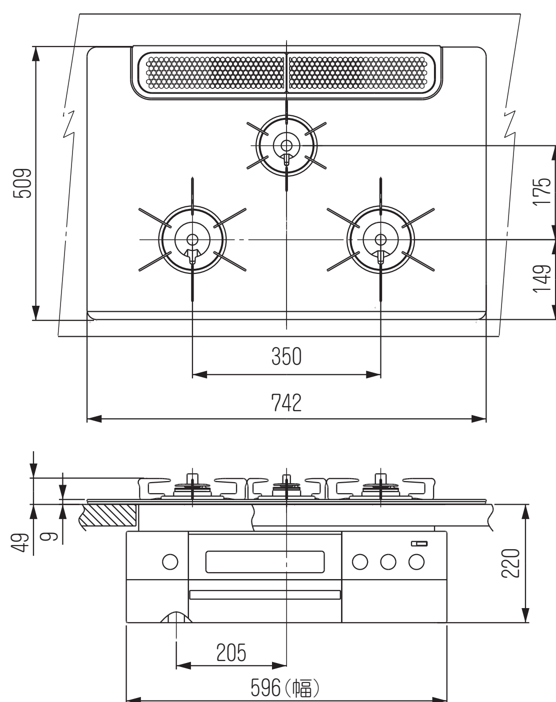
お願い

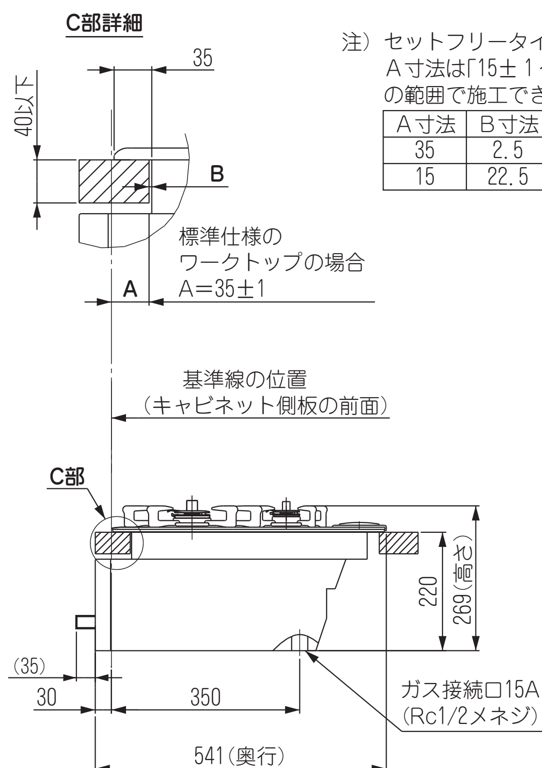
- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まない
- 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところに設置する
- ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板(JIS・K・ 6903)又はこれと同等以上の材料を使う
- **表面がニス引きのものは変色する恐れがあるので使用しない**
- 本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になります。

2 寸 法 図

1. 外形寸法図

（単位：mm）



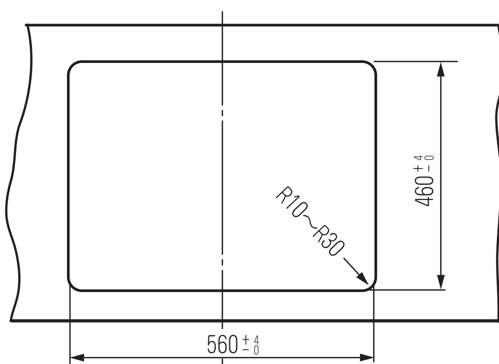


注）セットフリータイプなので
A寸法は「15±1～35±1」
の範囲で施工できます。

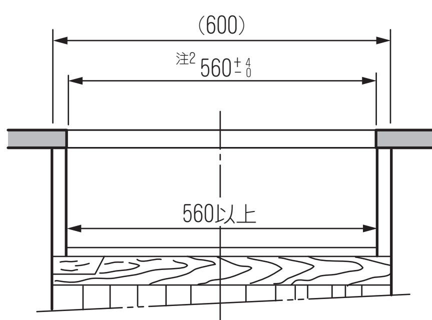
A寸法	B寸法
35	2.5
15	22.5

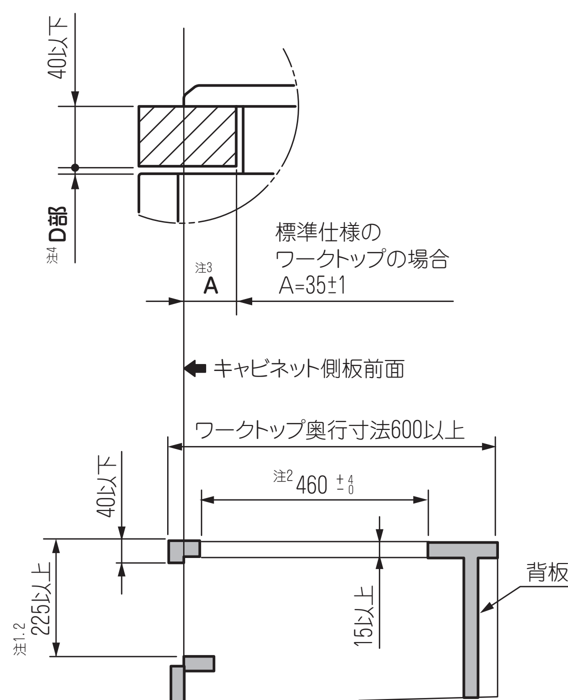
2. キッチン組み込み寸法図

（単位：mm）



〈ワークトップ切り込み寸法〉





注１　高さ寸法はワークトップ上面からの寸法です。

注２　ワークトップ開口寸法です。公差内になるよう加工してください。

注３　A寸法は15～35mmの範囲で設置できます。

注４　機器設置時において、空気が流れるようにD部（すきま）を必ず確保してください。

3 同梱部品と設置工事後不要となる部品の確認

■部品の不足がないことを確認する。

部品名	ごとく(大)	ごとく(小)	バーナーキャップ(大)	バーナーキャップ(標準)	バーナーキャップ(小)
形　状	×2		(H刻印)		

部品名	排気口カバー	エンドピース	グリル皿	グリル焼網	下火カバー
形　状					(左) (右)

部品名	取扱説明書	クックブック	乾電池(単1)	トッププレート固定ねじ	施工用キャップ(大)	施工用キャップ(小)
形　状				×2	コンロバーナー本体にはまっています。トッププレートセット後、不要になります。	

部品名	魚とって	コンロパネル飾り	グリルパネル飾り	コンロ下部飾り	グリル下部飾り
形　状					

●施工取っ手を持って、機器を段ボール箱より取り出してください。

■設置工事の際、コンロから取りはずし不要となる部品を確認する。

	コンロの単独設置の場合	コンロとオーブンのセットでの設置の場合		
部品名	底シール栓	接続用シール栓	シール栓押え板	接続口カバー
形　状				オーブン接続口
部品名	底シール栓押え板	本体カバー	本体カバー補助左	本体カバー補助右
形　状				

4 ガス配管工事・ガス配管接続工事・配線工事

⚠注意

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

- 接続の際はガスシール材を必ず使用する
- ガス栓（ねじガス栓）を必ず取り付ける
- 接続完了後、ガス漏れのないことを確認する
- 取りはずした部品は必ず取りつける

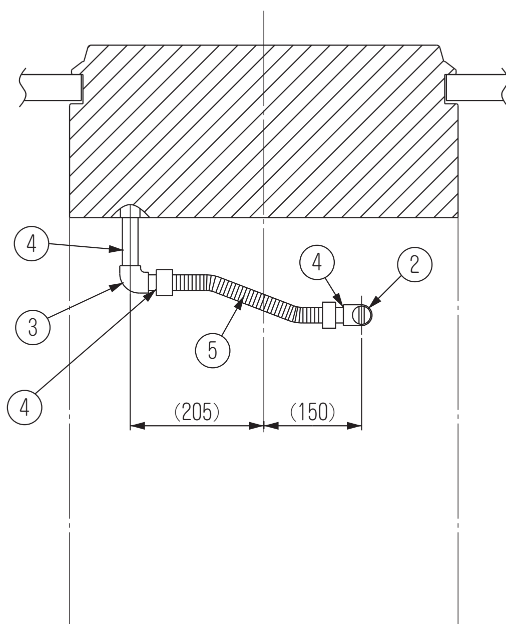


1. ガス配管方法

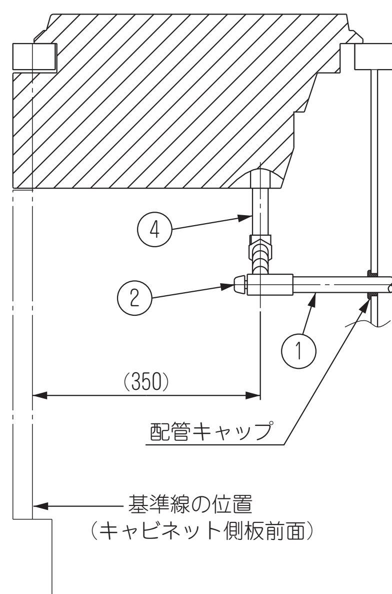
■コンロの配管方法

- ガス配管接続は金属可とう管または金属管接続してください。
- 配管周囲のすきまをなくすように、配管キャップなどを取り付けてください。すきまが大きいと消火したり、炎がもぐりこんだりして異常過熱の原因になります。

（単位：mm）



正面図



側面図

標準配管例

No	配管仕様
①	ガス管（R1/2）
②	ねじガス栓
③	エルボ（Rc1/2）
④	ニップル（R1/2）
⑤	金属可とう管

■ビルトインコンロとビルトインオーブンをセットで設置する場合の配管方法

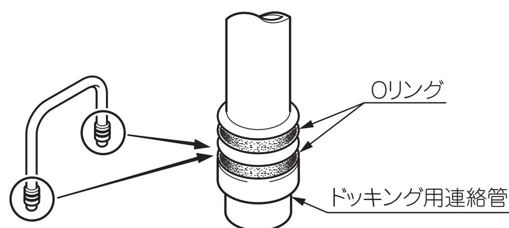
- ガス配管接続は金属可とう管または金属管接続してください。

2．ビルトインコンロとビルトインオーブンの接続方法

⚠注意

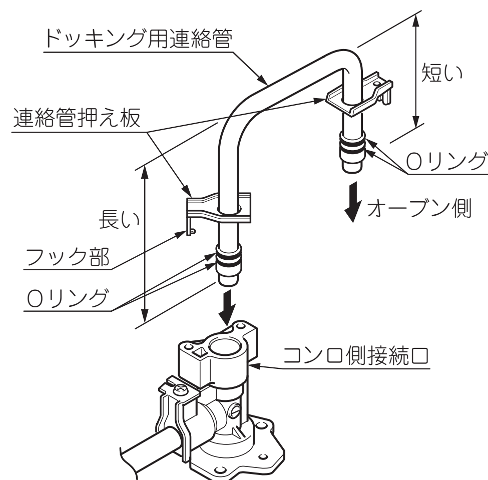
■ドッキング用連絡管にOリングが４個ついていることと、Oリングに傷がついていないことを確認する





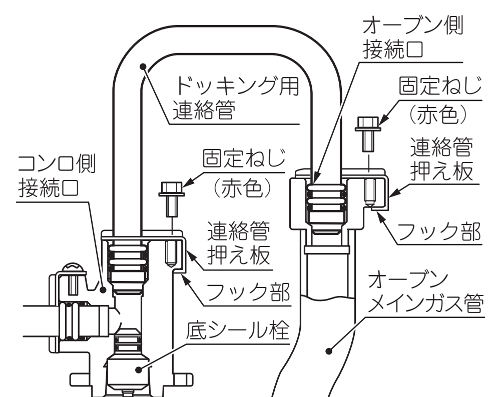
①ドッキング用連絡管の取り付け

- ビルトインオーブンに同梱してあるドッキング用連絡管の長い方をコンロ側の接続口に、短い方をオーブン側の接続口に接続します。
- 確実に奥まで連絡管を押し込み、挿入する。



②連絡管押え板の取り付け

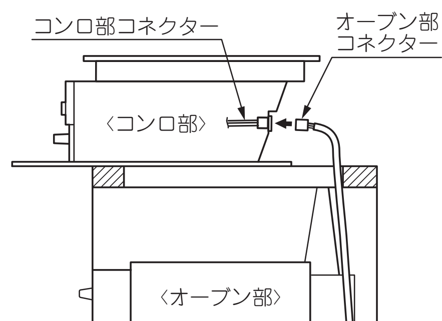
- ドッキング用連絡管についている連絡管押え板を回転させ、フック部がコンロ側接続口、オーブン接続口各々にかかるようにして､固定ねじ（赤色）１本で確実に取り付けてください。
- 連絡管押え板が回転できずに、浮き上がるときは連絡管を確実に奥まで押し込んでください。



3．レンジフードファン連動機能付コンロの配線方法

■レンジフードファン連動機能付コンロの作業

- コンロ右後部のコネクターにオーブン部配線のコネクターを確実に差し込んでください。
- オーブン部のコネクターを確実に差し込まないとオーブン使用時にレンジフードファンが作動しません。



5 コンロの単独設置

輸送のため各部品にあて紙や包装部材がありますので、全部取り除いてください。

1．グリルとびら・グリル皿・グリル焼網・グリル皿受けの取りはずし

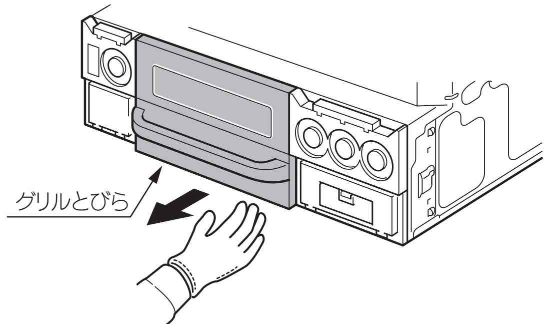
■グリルとびら、グリル皿、グリル焼網、グリル皿受けを取りはずす 図1

※グリルとびらのはずし方はP11 図5－B を参照してください。

お願い

- 開梱して機器を取り出す時や、ワークトップにはめ込む時は、必ず**施工取っ手**を持ってください。本体側部をもって機器を持ち上げると、本体側部が変形してトッププレートが浮き上がる原因となります。
- **施工用キャップをはずさないでください。トッププレートをセットする時に使用します。**

図1

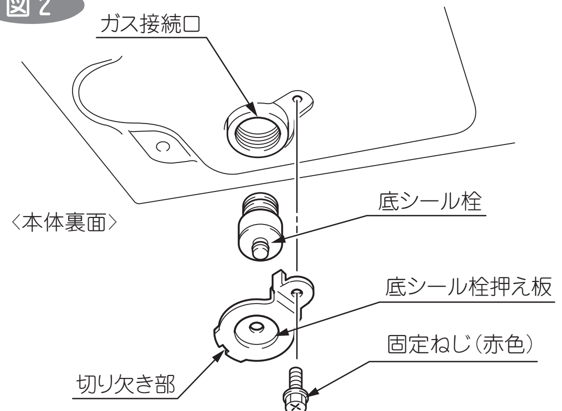


2．単独設置用の底シール栓の取りはずし

■ガス接続口のシール栓を取りはずす 図2

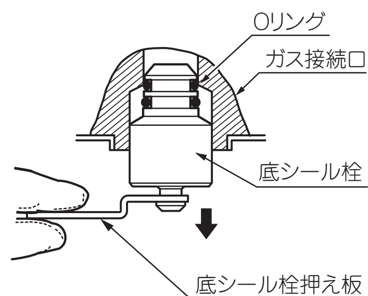
- 底シール栓の取りはずしは、ガス配管接続を行なう箇所のみ取りはずしてください。
- 本体底面左側にある固定ねじ（赤色）1本をはずし、底シール栓押え板をはずし、底シール栓をペンチなどではさんで、引き抜いてください。

図2



- ペンチなど工具がない場合は、シール栓の突起部に底シール栓押え板の切り欠き部を引っかけて、抜いてください。図3
- 取りはずした底シール栓、底シール栓押え板は不要です。

図3



⚠注意

■ビルトインオーブンを接続する場合は、底シール栓をはずさない

ガスが漏れる原因となります。

■器具設置とガス配管接続工事を同時に行わない場合は、器具設置時には底シール栓をはずさない

ガスが漏れる原因となります。

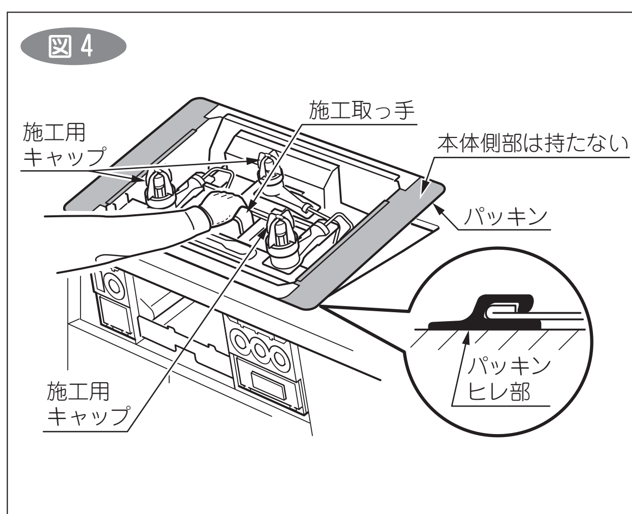


3．コンロの設置

■コンロの組み込み 図4

- ビルトインコンロの施工取っ手を持ち、前面を先に挿入して、パネル・操作ボタンなどにキズがつかないよう注意しながら、コンロをはめ込みます。
- はめ込み時は必ず施工取っ手を持ってはめ込んでください。（本体側部を持たないでください）バーナー・バーナー支えなどの燃焼部品を持ってはめ込むと燃焼不良の原因になります。

図4



お願い

- **施工用キャップを装着したままワークトップにはめ込んでください。**
- パッキンが本体からはずれていないか確認してください。
- 必ずパッキンのヒレ部が丸まっていないか確認してください。（特にコーナ部）丸まっている場合は、丸まりを直してください。

※機器の設置の際には必ず手袋をしてください。

4．下火カバー・グリルとびら・グリル皿・グリル焼網・グリル皿受け・エンドピースの取り付け

■下火カバー、グリルとびら、グリル皿、グリル焼網、グリル皿受けとエンドピースの取り付け

図5－A 図5－B

図5－A

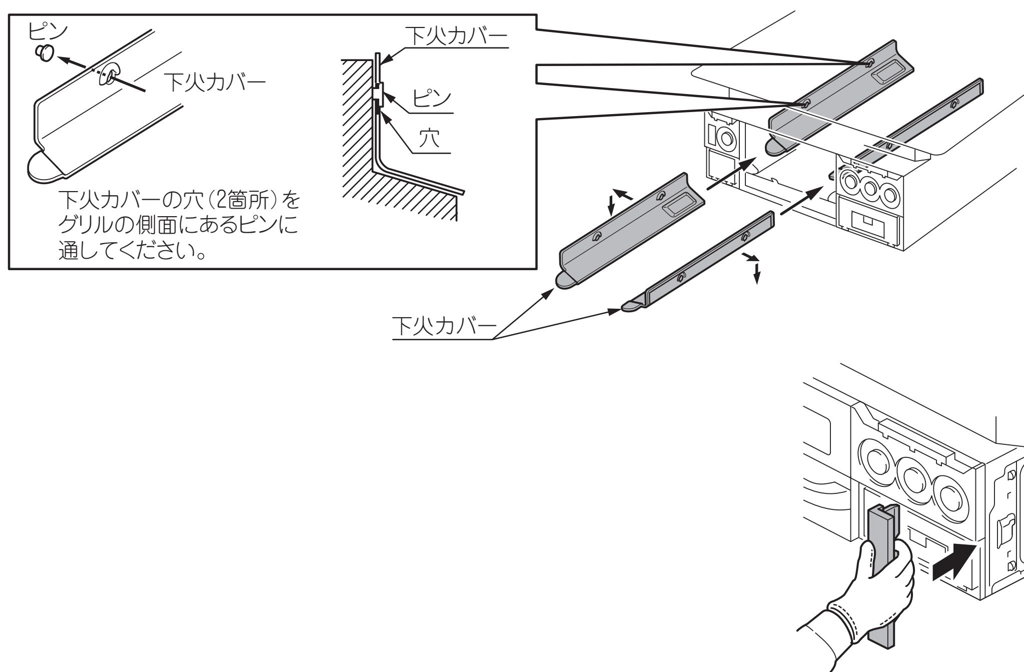
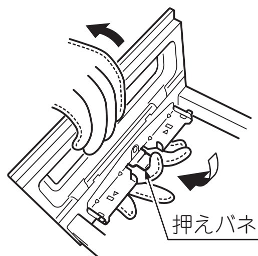


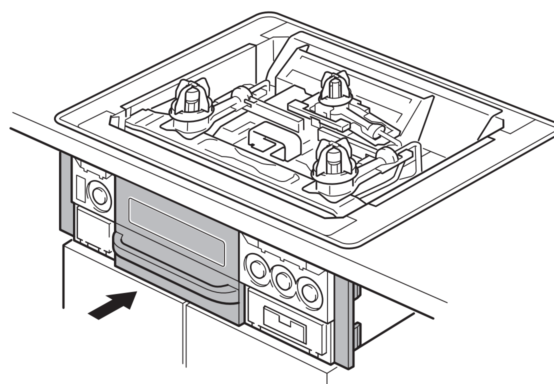
図５－Ｂ

取りはずし方

①グリルとびらを止まるまで引き出し、グリル焼網、グリル皿、グリル皿受けを取り出す。

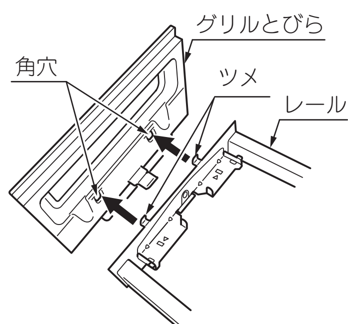
②グリルとびらについている押えバネを矢印方向に押しながらはずす。





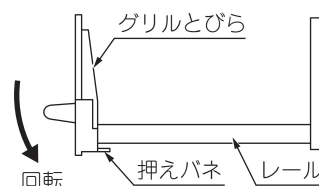
取り付け方

①レールのツメ２箇所をグリルとびらの角穴にはめ込む。



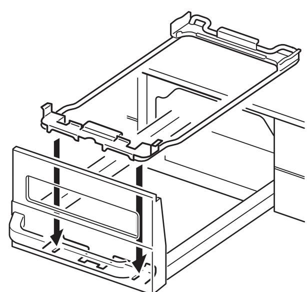
②グリルとびらを の方向に回転させる。

③押えバネがレールに確実にはまっているか確認する。



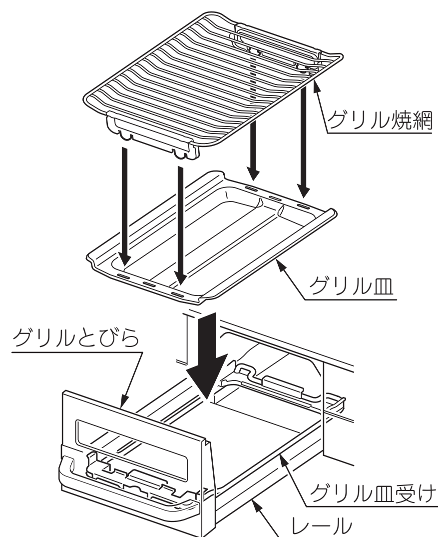
④グリルとびらを止まるまで引き出す。

⑤グリル皿受けの「テマエ」刻印を手前にして、△矢印をレールの△矢印に合わせ、ツメをレールの角穴にセットする。（２箇所）



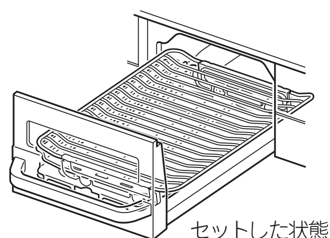
⑥グリル皿をグリル皿受けにセットする。

⑦グリル焼網の脚のツメをグリル皿の角穴にセットする。（４箇所）



⑧確実にセットされているか確認する。

※グリルとびらを閉めるとき、こすれる音がしたり、スムーズに動かなかったりする場合は、正しくセットされていませんので、やり直してください。
無理に閉めると破損する恐れがあります。


セットした状態

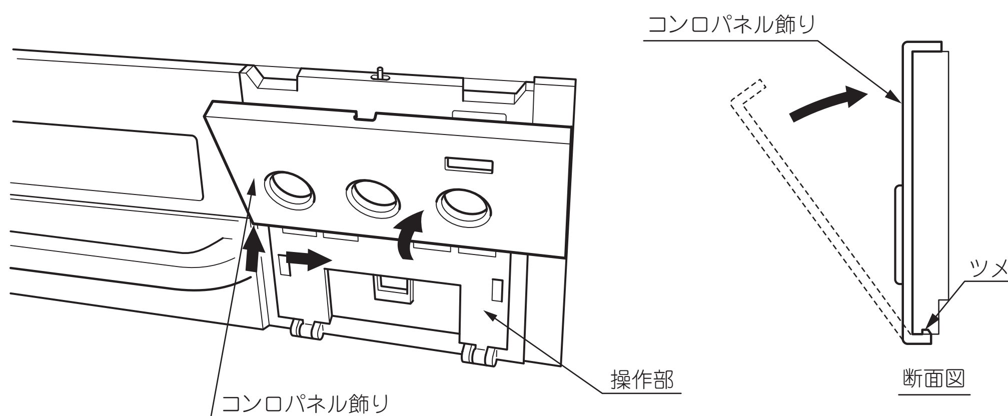
5．コンロパネル飾り・グリルパネル飾り・コンロ下部飾り グリル下部飾りの取り付け

■コンロパネル飾り、グリルパネル飾りの取り付け

●取り付け前にパネル前面の保護シートをはがしてください。

●コンロパネル飾りを斜めにし、下側のツメを奥まで押し込んでください。図6
コンロパネル飾りを持ち上げながら回転させ、本体に密着させてください。

図6



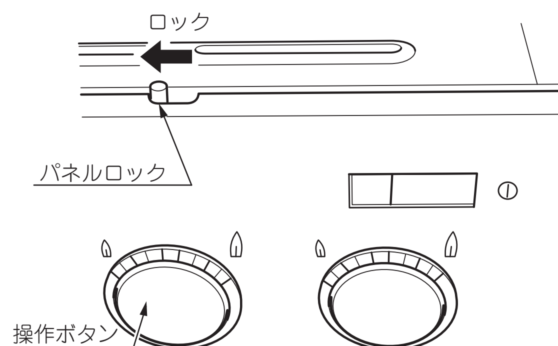
※操作部を半開きの状態にして取り付けると取り付けやすくなります。

●コンロパネル飾りの上面にある、パネルロックを左側へ動かして、コンロパネル飾りを固定する。図7

※各操作ボタンを押して、操作ボタンを出しスムーズに回転することを確認してください。

●グリルパネル飾りも同様に取り付ける。

図7



お願い
- パネルロックを必ず左側へ止まるまで動かして固定してください。
- 指が入らない場合は㊀ドライバーなどの薄いもので行ってください。
- パネルにキズをつけないように注意し、作業を行ってください。

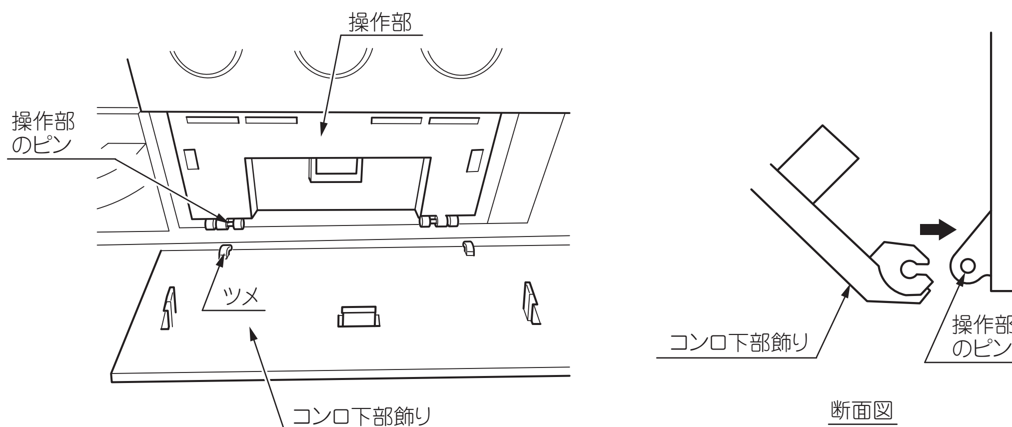
■コンロ下部飾り、グリル下部飾りの取り付け

●コンロ下部飾りの左右のツメのミゾを操作部のピンに片方ずつはめ込む。図8

●コンロ下部飾りを回転させて操作部にはめ込む。

※取り付け後、操作ボタン・下側の操作部の動きを確認してください。動きが重かったり、引っかかりのある時はパネル飾りのツメがしっかりはまっていないことが考えられます。その場合は、前頁のパネル飾りの取り付けをやり直してください。

図8



●グリル下部飾りも同様に取り付ける。

●コンロ下部飾り、グリル下部飾りの保護シートをはがす。

6．機器の固定

■コンロのワークトップへの固定 図9

●機器を固定する前に、機器の前面とキャビネットとびらの前面が合うように機器の位置を調整してください。

●本体側面についている止めねじを回して、機器を動かない程度に固定してください。

●締めこみすぎると、ワークトップを壊したり、機器が変形したり、トッププレートが浮く原因になります。

※機器が動くと感震器の誤作動の原因になります。

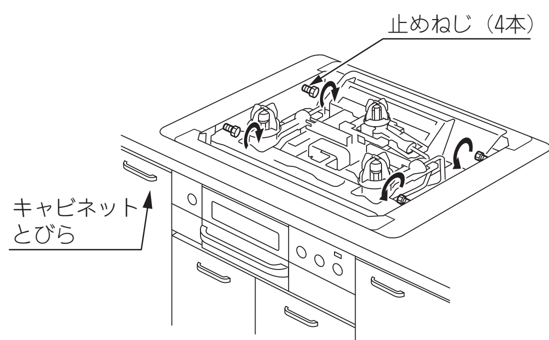
〈使用工具〉

プラスドライバー、スパナ（呼び８）、ペンチ

●スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチなどで止めねじの六角部をはさんで、ねじを回してください。

※工具を使用する際には、バーナーに傷をつけないようにしてください。

図9



7．トッププレートをセットする

① 施工用キャップをガイドにして、トッププレートをセットする。

※点火プラグや立消え安全装置をバーナーリングの穴へ通すようにしながら、トッププレートをセットしてください。図10

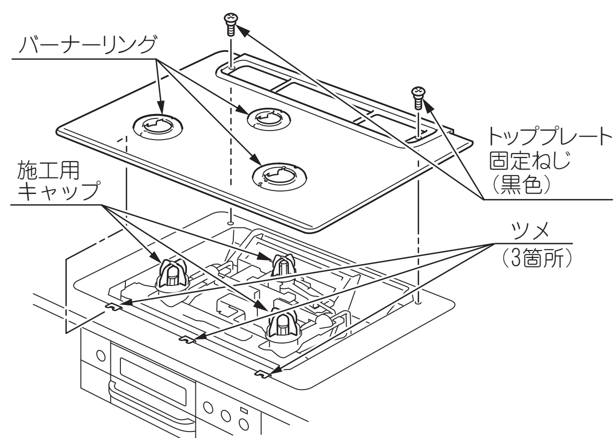
● トッププレートを前に動かしてツメ（3箇所）に引っ掛ける。図10

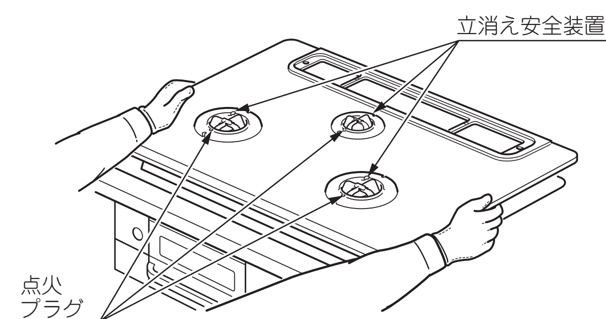
② 同梱してあるトッププレート固定ねじを使用して、トッププレートをねじ固定する。

お願い
- バーナーの塗装面をキズつけたり点火プラグを曲げたりしないよう注意してください。
- バーナーリングを持って運搬しないでください。
- バーナーリングにキズがつきますのでリング側を立てかけたり、床等に置いたりしないでください。

③ トッププレートセット後、施工用キャップを取りはずす。

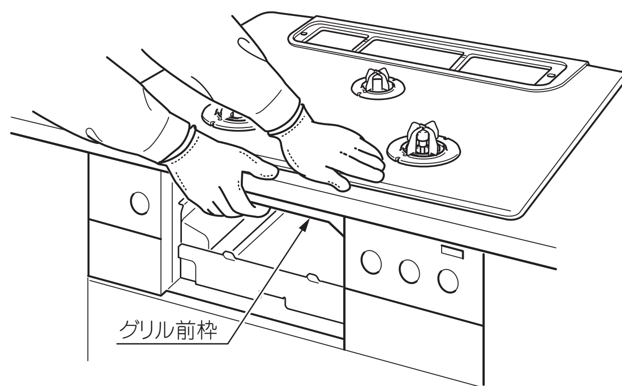
図10



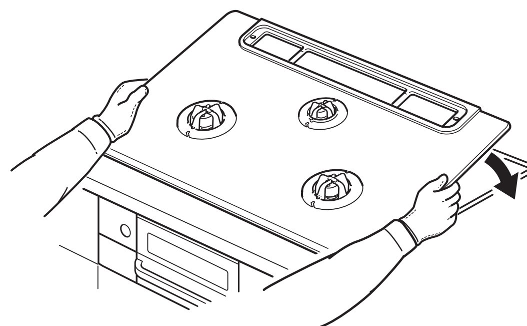


トッププレート施工時のポイント

●グリル前枠部分とワークトップをはさむようにして機器を少し（0.5㎜程）持ち上げながらトッププレートを前に引くとツメが引っ掛かります。
（※グリルバーナーには手を触れないでください。）



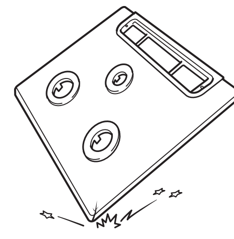
●上記方法にてツメが引っ掛からない場合は一度トッププレートをはずし、前端のツメに先に引っ掛けてトッププレートをセットしてください。



ツメに引っ掛けて矢印方向に回転させてセットする。

⚠注意

■トッププレートは端面に衝撃を加えると、割れ欠けの原因となりますので十分に注意して取り扱ってください。





■トッププレートは確実に取り付ける。

■トッププレートのセットは浮きがないように上部枠パッキンに確実にはめ込んでください。

●セットがかたい場合は上部枠パッキンを本体側に押し込んでなじませてください。

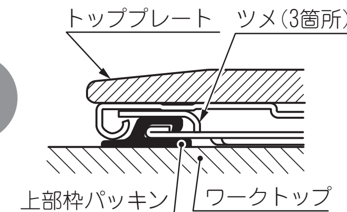
■上部枠パッキンのヒレ部が丸まっていないか必ず確認する。

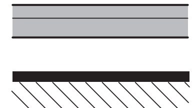
●ヒレ部が丸まっている場合は丸まりを直してください。

■トッププレートをセットした後、トッププレートコーナー部を軽くもち上げ、浮きのないことを確認してください。

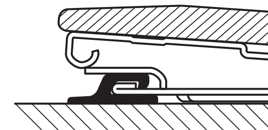
〈断面図〉 〈正面図〉

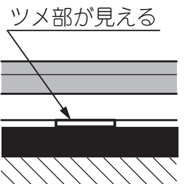






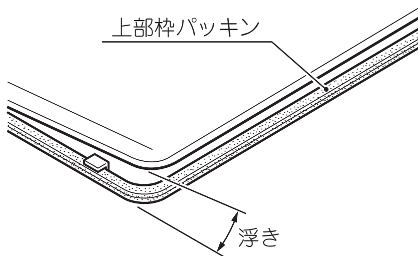


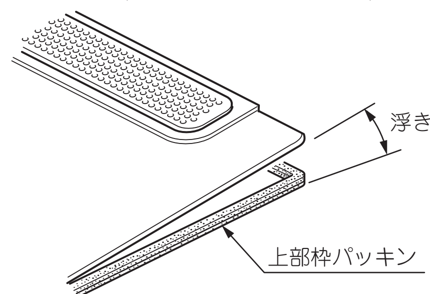




〈トッププレート前面〉 〈トッププレート後面〉



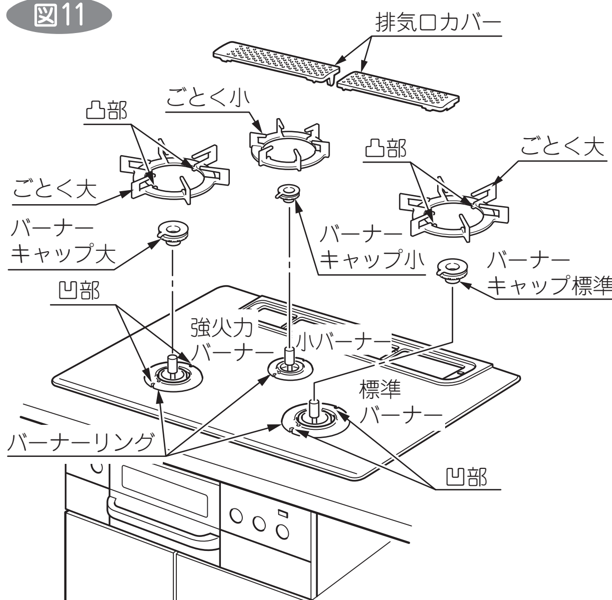




8．部品の取り付け

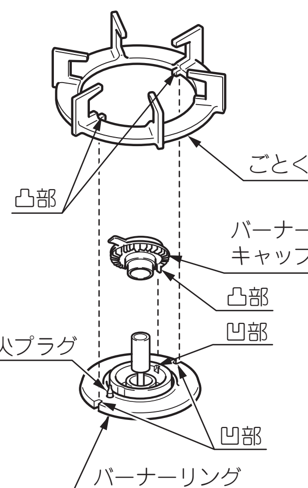
●詳しくは、取扱説明書を参照してください。

図11

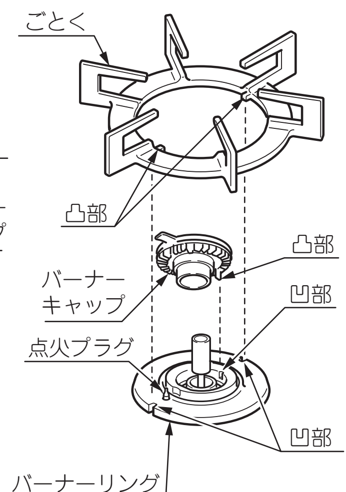


●バーナーキャップ・ごとくは、下図のように正しくセットしてください。

小バーナー



標準バーナー・強火力バーナー



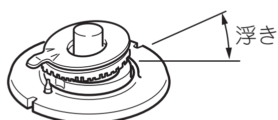
ごとく	バーナーキャップ
凸部 強火力バーナー 標準バーナー 小バーナー ごとく内側の凸部を前後にしてバーナーリングの凹部に入れて正しくセットしてください。	凸部 小バーナー　標準バーナー　強火力バーナー 凸部を前にしてバーナー本体後側の凹部にバーナーキャップのピンを入れて正しくセットしてください。 強火力バーナーのバーナーキャップには、Hの刻印が表示してあります。

● バーナーキャップ・ごとくは確実に取り付ける

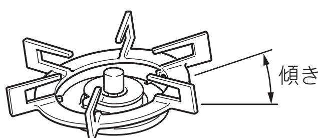
⚠注意

● ごとくが傾いたり、バーナーキャップの取り付け忘れやななめにセットすると、炎がもぐりこんだり、異常燃焼による火災や機器焼損の原因になります。

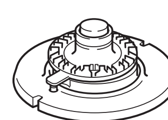
バーナーキャップの浮き



ごとくの傾き



バーナーキャップの裏返し

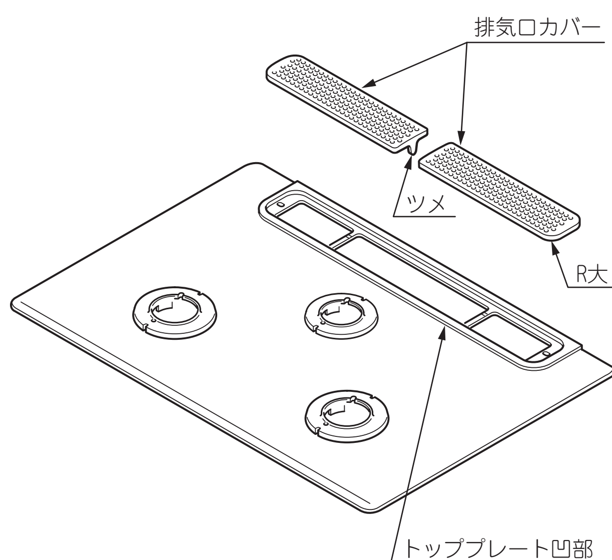




禁止

排気口カバー

● 排気口カバーをトッププレート凹部にはめ込んでください。



9．乾電池の取り付け

●**詳しくは、取扱説明書を参照してください。**

乾電池の取り付け手順 図12

●取扱説明書に従って、同梱してある単１形乾電池２個を電池ケースに取り付けてください。

①コンロ操作部の「Push」付近を指で押します。押し込んだ指を戻すと操作部が出てきます。

②コンロ下部飾りの両端上側を裏から両手で手前へ押します。操作部とコンロ下部飾りが分かれます。

③操作部を本体へ押し込みます。

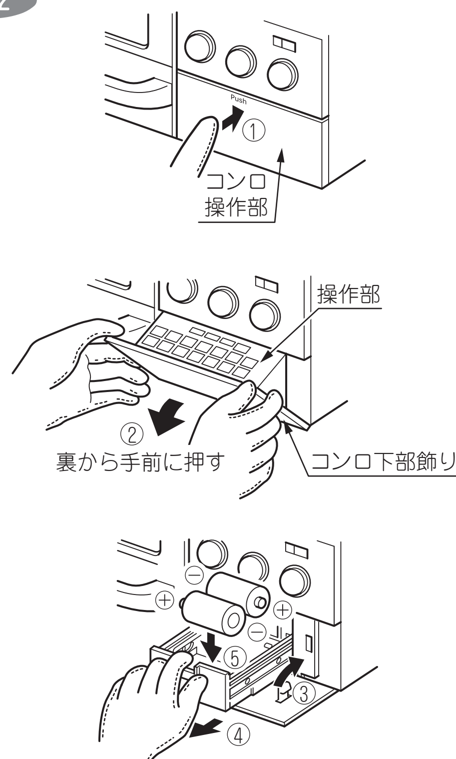
④電池ケースを止まるところまで、ゆっくりと引き出します。

⑤単１形アルカリ乾電池（1.5V）２個を図のように⊕⊖を確認して正しくはめ込んでください。

⑥電池ケースを奥までしっかり押し込み本体に収納します。

⑦コンロ下部飾りを機器側へ押し込み操作部にコンロ下部飾りをくっつけます。

⑧操作部を本体に収納します。



10．ガス配管接続・ガス配管工事

■ガス管の接続およびガス配管工事

● 4 ガス配管工事 を参照して、ガス配管接続および配管工事を行ってください。

●必ず、ガス漏れ検査を行ってください。



7 設置工事後の点検確認 の項目に進んでください

6 コンロとオーブンのセットでの設置

※新設置コンロは工場出荷時、コンロ単品での設置仕様になっております。これをオーブンと接続できる仕様に変更する必要があります。

1．部品の取りはずし

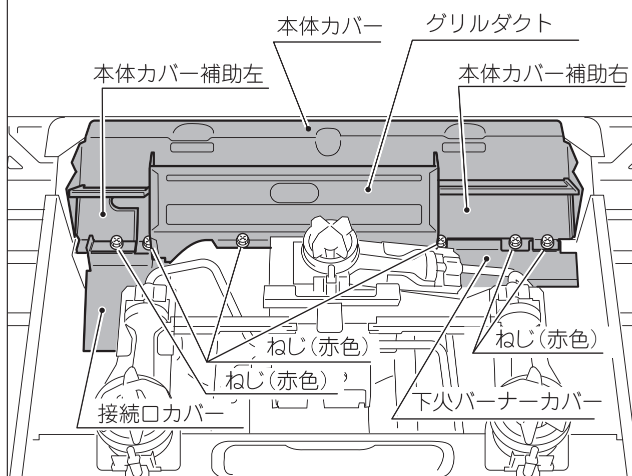
①グリルとびら、グリル皿、グリル焼網、グリル皿受けを取りはずす
（P9 図1 を参照してください）

②グリルダクトを取りはずす
- ねじ（赤色）を3本はずして、グリルダクトを取りはずしてください。図13

③本体カバー、接続口カバー、下火バーナーカバー、本体カバー補助右、本体カバー補助左を取りはずす
- ねじ（赤色）を3本はずして取りはずしてください。図13

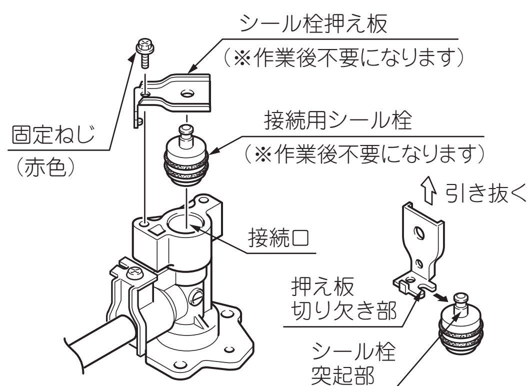
※下火バーナーカバーは再び使用します。

図13



④接続口の接続用シール栓を取りはずす
図14
- 本体内左後部にある接続口の固定ねじ（赤色）1本をはずす。（固定ねじは再び使用します）
- シール栓押え板を回転させてから、取り出したのちに、接続用シール栓の突起部をペンチなどではさんで、引き抜いてください。
- 工具がない場合は、シール栓の突起部にシール栓押え板の切り欠き部を引っかけて、抜いてください。

図14



⚠注意

■コンロを単独設置する場合は、接続用シール栓をはずさない
ガスが漏れる原因となります。



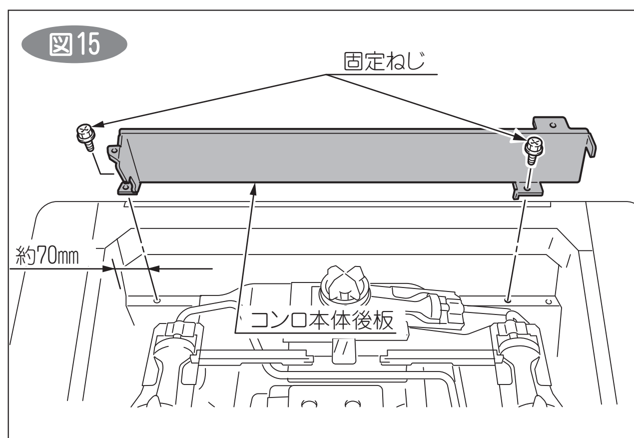
- 底シール栓、底シール栓押え板が確実にはまっていることを確認する。
- 底シール栓押え板の固定ねじ（赤色）がゆるんでいないことを確認する。



2．部品の取り付け

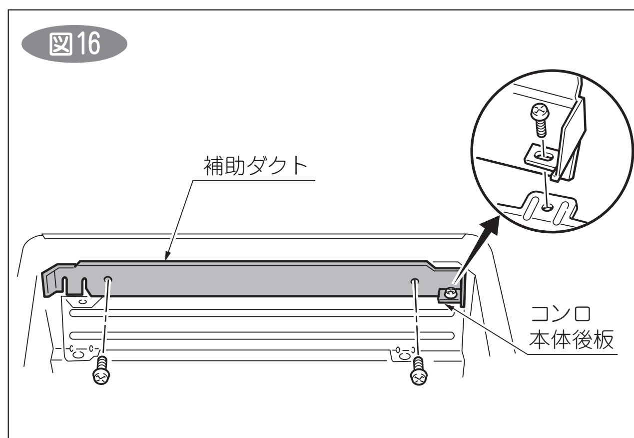
①コンロ本体後板を取り付ける 図15

● オーブンに同梱してあるコンロ本体後板をねじ 2 本で本体後部、右側の方に取り付けてください。



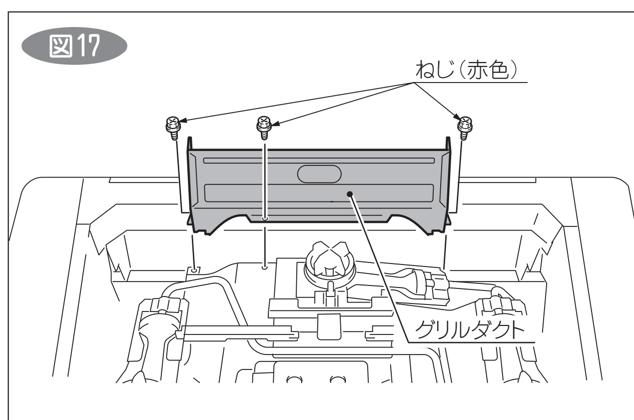
②補助ダクトを取り付ける 図16

● オーブンに同梱してある補助ダクトを本体上部枠後部に手前からねじ 2 本で取り付けてください。
● コンロ本体後板右側にねじ 1 本で補助ダクトを取り付ける。



③グリルダクトを取り付ける 図17

● 図13 で取りはずした、グリルダクトをねじ（赤色） 3 本で取り付けてください。

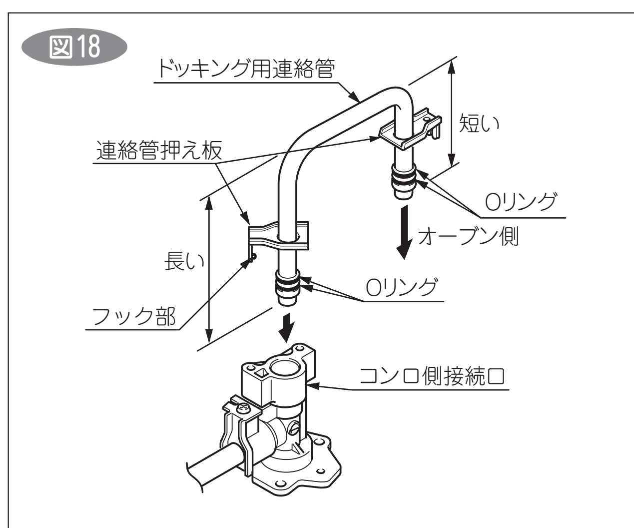


3．ドッキング用連絡管の取り付け

※ドッキング用連絡管の取り付けは、コンロをオーブンに組込んだ後での作業も可能です。

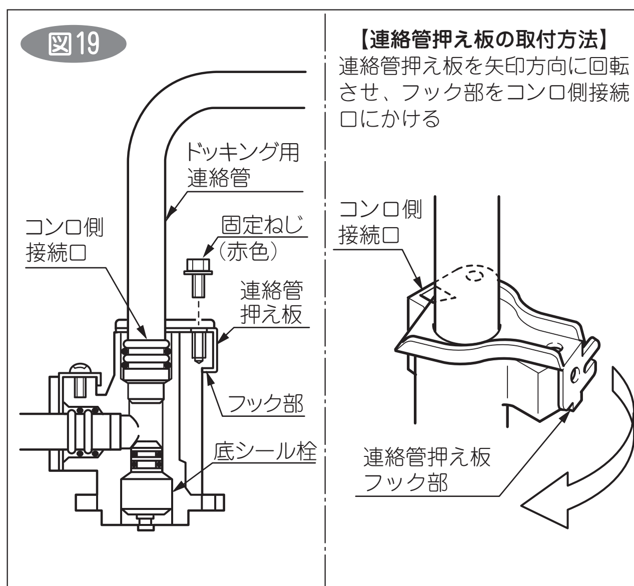
①ドッキング用連絡管の取り付け 図18

● ビルトインオーブンに同梱してあるドッキング用連絡管の長い方をコンロ側の接続口に、確実に奥まで挿入する。



②連絡管押え板の取り付け 図19

- ドッキング用連絡管についている連絡管押え板を回転させ、フック部がコンロ側接続口にかかるようにして、図14 ではずした固定ねじ（赤色）1本で確実に取り付けてください。(取り付け位置は2箇所ありますが、どちらでも取り付けできます)
- 連絡管押え板が回転できずに、浮き上がるときは**連絡管を確実に奥まで押し込んでください。**



⚠注意

■ドッキング用連絡管にOリングが4個ついていることと、Oリングに傷がついていないことを確認する



■Oリング部にはガス用シール剤を塗布しない

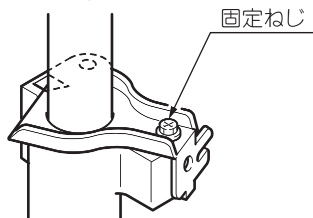


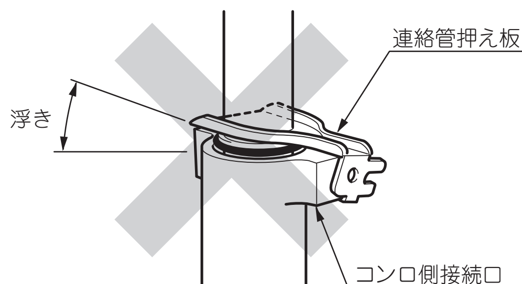
⚠注意



■連絡管押え板が浮いていないか確認する。

■固定ねじが確実に取り付けてあるか確認する。





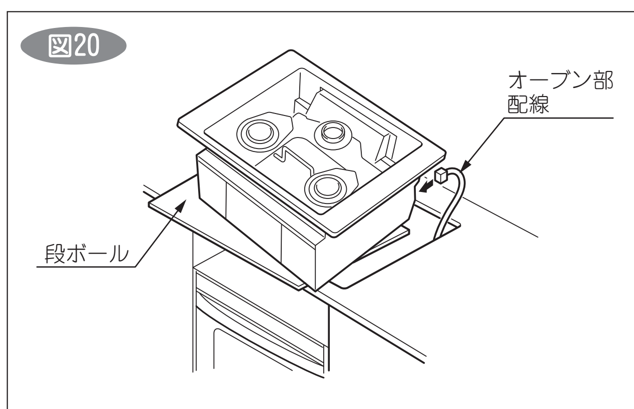
4．コンロの組み込み前の作業

①ビルトインオーブンの設置作業

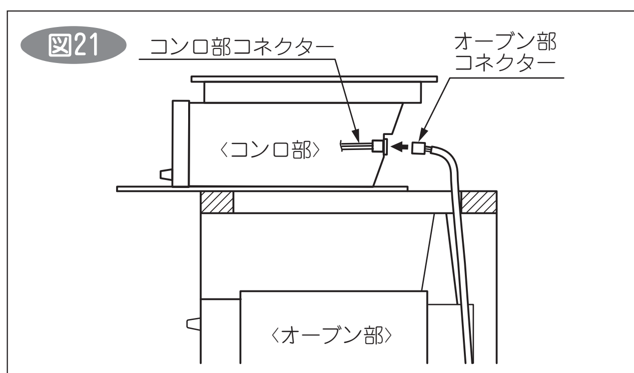
- ビルトインオーブンに同梱されている「設置工事説明書」を参照して設置してください。
- オーブンのシール栓をはずしてください。

②レンジフードファン連動タイプの場合の作業

- カウンターにキズをつけないように段ボール等を敷きその上にコンロ部を乗せ作業を行なってください。図20



- コンロ右後部のコネクターにオーブン部配線のコネクターを後ろから確実に差し込んでください。
図20 図21
- オーブン部のコネクターを確実に差し込まないとオーブン使用時にレンジフードファンが作動しません。



5．コンロの組み込み

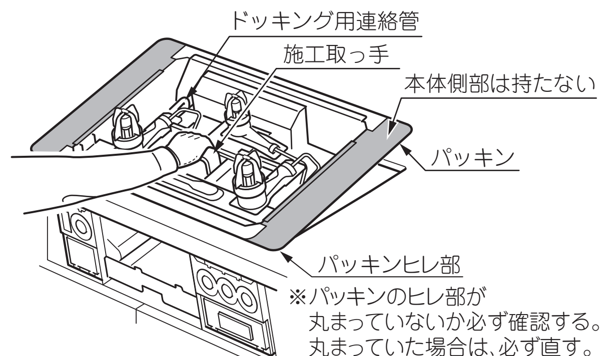
①コンロの組み込み

- 設置時には必ずコンロの施工取っ手を持って行なってください。
- 前面を先に挿入し、オーブン部の排気ボックスにのり上げないように注意しながら、ドッキング用連絡管の管端を、オーブンの接続口に合わせて挿入し、コンロをオーブンに取り付けます。 図22
- ドッキング用連絡管をオーブンの接続口に最後までもう一度押し込んでください。 図24
- コンロ補助ダクトが、オーブン部の排気ボックスに乗り上げていないか確認してください。 図23

②連絡管押え板の取り付け 図24

- ドッキング用連絡管についているオーブン側の連絡管押え板を回転させ、フック部がオーブン側接続口にかかるようにして、オーブン接続口から取りはずした固定ねじ（赤色）１本で**確実に取り付けてください。**
- 連絡管押え板が回転できずに、浮き上がるときは連絡管を奥まで押し込んでください。
- オーブンの接続口に届かない場合は、オーブンに同梱されている「設置工事説明書」を参照し､オーブンの高さ調節をして､**確実に接続してください。**

図22



※パッキンのヒレ部が丸まっていないか必ず確認する。丸まっていた場合は､必ず直す。

図23

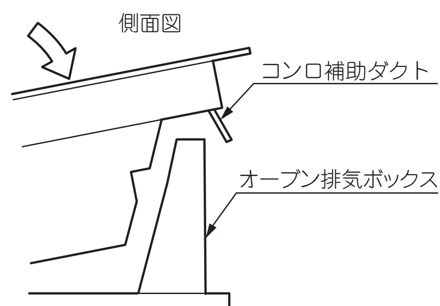
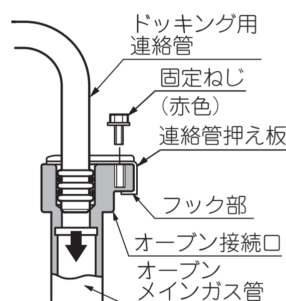
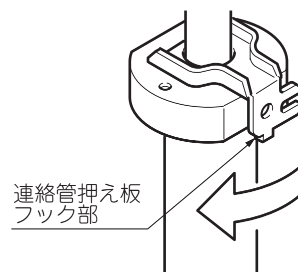


図24



【連絡管押え板の取付方法】
連絡管押え板を矢印方向に回転させ、フック部をオーブン接続口にかける



⚠注意


禁止

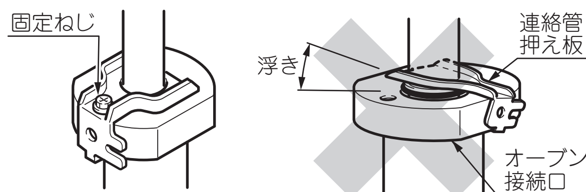
■Oリングに傷をつけない。
・ガス漏れにつながる可能性があります。
■Oリングにはグリスを塗布しているので、絶対にグリスを拭き取らない。
■Oリング部にはガス用シール剤を塗布しない。


確認

■Oリングが付いていることを確認する。
■接続は、確実に行う。


確認

■連絡管押え板が浮いていないか確認する。
■固定ねじが確実に取り付けてあるか確認する。



6．下火カバー・グリルとびら・グリル皿・グリル焼網・グリル皿受けとエンドピースの取り付け

■下火カバー、グリルとびら、グリル皿、グリル焼網、グリル皿受けとエンドピースの取り付け

● コンロ単独設置の場合のP10 図5－A 、P11 図5－B を参照して、取り付けてください。

7．コンロパネル飾り・グリルパネル飾り・コンロ下部飾り グリル下部飾りの取り付け

■コンロパネル飾り、グリルパネル飾り、コンロ下部飾り、グリル下部飾りの取り付け

● コンロ単独設置の場合のP12、13 図6 図7 図8 を参照して、取り付けてください。

8．機器の固定

①コンロ部とオーブン部の固定 図25

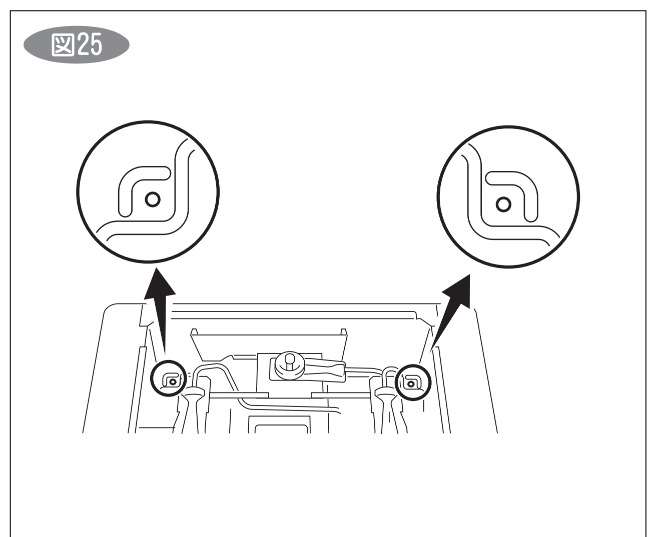
● コンロ部の本体固定用穴とオーブン部の本体固定用ねじ穴を合わせてください。また、コンロ部の前面とオーブン部の前面があっているか確認してください。

● オーブンに同梱してある本体固定ねじ2本（赤φ5）で、固定します。

②ワークトップへの固定

● コンロ単独設置の場合のP13 図9 を参照して、止めねじ（4本）で取り付けてください。

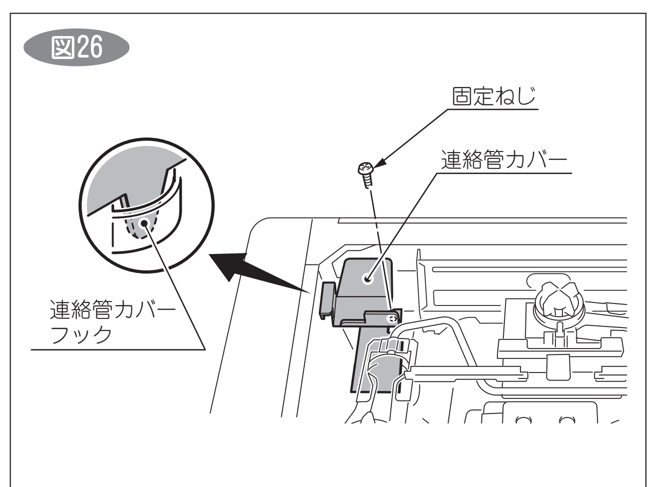
● オーブンに同梱されている「設置工事説明書」を参照して、オーブンを固定してください。



9．連絡管カバーの取り付け

■連絡管カバーの取り付け 図26

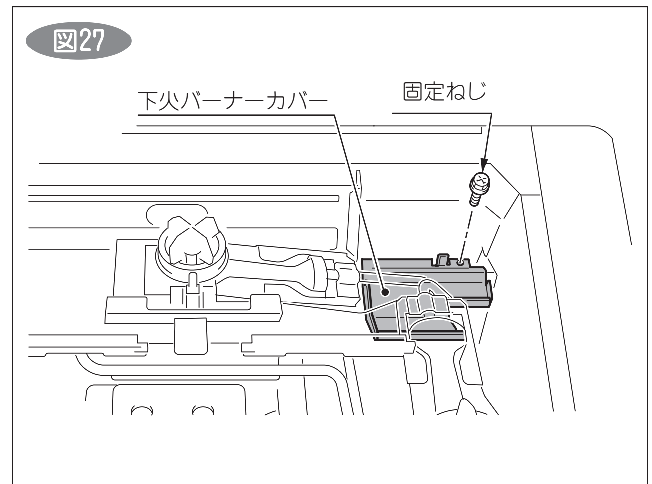
● オーブンに同梱されている連絡管カバーのフックをコンロ本体の溝に引っかけ、もう一方は、コンロ本体後板の左側に､固定ねじ1本で固定します。



10. 下火バーナーカバーの取り付け

■下火バーナーカバーの取り付け 図27

●P18 図13 にて取りはずした下火バーナーカバーを 図13 ではずした固定ねじ（赤色）1本で固定します。



11. 部品の取り付け

■トッププレート･排気口カバー･ごとく･バーナーキャップ･乾電池などの取り付け

● 5 コンロの単独設置 P14～17を参照して、取り付けてください。

12. ガス配管接続・ガス配管工事

■ガス管の接続およびガス配管工事

●オーブンに同梱されている「設置工事説明書」を参照して、ガス配管接続および配管工事を行ってください。

●必ず、ガス漏れ検査を行ってください。

7 設置工事後の点検確認

●チェックリストにもとづいて確認してください。

点検項目		点検内容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	ガス種	機器が使用するガス種に適合しているか。（銘板確認）	1	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	1	
	水平設置	水平にセットされているか。	1	
	安定設置	ガタツキはないか。	1	
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	1	
キャビネット		キャビネットに背板があるか（機器後方に穴があいていないか）	1	
ガス配管接続工事		ガス漏れはないか。	4	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付したか。		
付属部品		調理用付属品は同梱されているか。また正しく取り付けられているか。	3	
レンジフードファン連動		レンジフードファンが正しく作動するか。	4 6	
その他		グリル、オーブン庫内に同梱物が残っていないか。		

8 試点火および試運転

■試点火および試運転

●正しく設置工事されていることを確認してからガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。

■試運転終了後の処置

●試運転終了後長期間使用しない場合は、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、乾電池を取りはずしてください。また、オーブンを設置した場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●魚とってはグリル庫内に保管せずにトッププレート中央部に置いてください。

■お客様への説明

●必ず取扱説明書によって機器の取扱いを説明してください。

●必ず取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。

●取扱説明書、設置工事説明書の保管のお願いをしてください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
ホームプロダクツ事業部

東　京　〒108-0022 東京都港区海岸3-2-12 安田芝浦第２ビル
TEL(03)5445-3363　FAX(03)5445-3362
サービスご相談窓口（フリーダイヤル）0120-5445-07
http://www.aeg-electrolux.com



この紙は再生紙を使用しています。

R71WAR-53A (00)